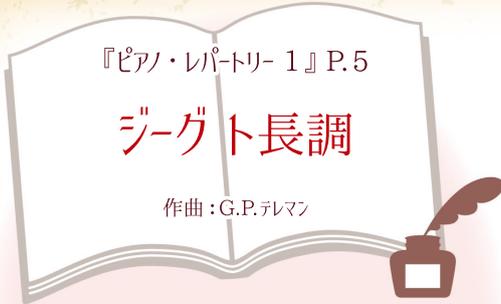


隠れた名曲から辿る音楽史

ピアノ科ベーシックコース主教材『ピアノ・レパートリー 1・2』で取り上げている作曲家の作品や生涯、当時の時代背景などをとおして、古今東西の音楽の歴史を紐解いていきます。



『ピアノ・レパートリー 1』P.5

ジグト長調

作曲：G.P.テレマン

ジグは、イギリスの民族的な踊りを起源とする8分の6拍子や8分の9拍子が特徴の舞曲です。17～18世紀にヨーロッパで流行し、「古典組曲(*)」では主に終曲として最後に置かれ、曲の締めくくりに使われました。

テレマンの『ジグト長調』は、8分の6拍子でジグならではの活発で軽快な感じと、彼の持ち味である親しみやすく美しい旋律が特徴の作品です。

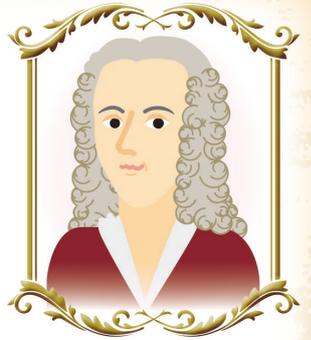
*……いくつかの舞曲を一定の様式に沿って組み合わせたバロック時代の重要な器楽曲の形式の1つ

ゲオルク・フィリップ・テレマン

(1681年3月14日-1767年6月25日)

18世紀前半の後期バロック時代に活躍し、当時のヨーロッパで最も高い人気と名声を誇ったと言われるドイツ人音楽家です。

12歳で初めて作曲をして以来、母の反対にあいながらも音楽の勉強を続け、大学卒業後は教会の楽師長などを務め音楽で生計を立てるように。40歳の頃にドイツ北部の都市ハンブルクに移住し、演奏会や楽譜出版で大成功を収めました。86年の長い生涯の中で3,600曲以上の膨大な曲を残し、最も多くのクラシック音楽の曲を作った作曲家として『ギネス世界記録』にも登録されています。また、同世代の作曲家たちとも親交が深く、ヘンデルとは学生時代からの友人で、彼のイギリス帰化後も文通していた記録があります。J.S.バッハとも家族ぐるみの付き合いをしており、次号で取り上げる次男C.Ph.E.バッハの名付け親になりました。



代表作

『ターフェルムジーク (食卓の音楽)』

『バリ四重奏曲集』/『クラヴサンのためのファンタジア集』

テレマンくんに聞く

バロック時代の音楽形式 ～組曲編～



ボクの生きたバロック時代の重要な音楽形式の1つに、『組曲』が挙げられるよ。

この時代の組曲は、拍子や速さの違うヨーロッパ各地の舞曲を同じ調で一定の順番で演奏するもので、一般的に『古典組曲』と呼ばれているんだ。基本的には①アルマンド→②クーラント→③サラバンド→④ジグの順番が定型になっているよ。さらに、この4つの基本の舞曲に加えて、冒頭に前奏曲(プレリュード)や序曲が付いたり、途中でメヌエット、ガヴョット、ブーレ、ジグの後にシャコンヌやパッサカリアといったほかの舞曲が置かれたりして、次第に曲の規模が拡大していったんだ。

『組曲』はバロック時代にとっても人気のあったジャンルで、チェンバロやリュート、管弦楽、ヴァイオリンなど、さまざまな楽器で演奏できるように作曲されたよ。



◀アルマンド

ドイツ生まれのゆったりとした2拍子または4拍子の舞曲



▶クーラント

フランスの優雅で流れるような速さの3拍子または6拍子の舞曲。

※イタリアでは、軽快な『コレンテ』と呼ばれる舞曲に発展



◀サラバンド

スペインを起源とする、17～18世紀にヨーロッパの宮廷で流行した格調の高いゆっくりとした3拍子の舞曲

▶ジグ

イギリス生まれの3拍子系の軽快で急速な舞曲



ピアノ・レパートリー 1・2

～時代様式、スタイルを学ぶ～

「ピアノ・スケッチ」を修了程度のお子さまから大人の初心者の方までを対象に、著名作曲家の作品を中心として、四期(バロック、古典、ロマン、近現代)それぞれの時代様式の特徴がよく表われている楽曲を集めたテキストです。



ピアノ・レパートリー 1

- 定価：1,000円+税
- 品番：T31-114
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 5～2級
- 収録曲：全15曲



ピアノ・レパートリー 2

- 定価：1,000円+税
- 品番：T31-115
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 3～2級
- 収録曲：全12曲

対応SMFミュージックデータ [1巻：6曲セット/2巻：4曲セット] 定価：各800円+税 『ローランド ネットワーク サービス』会員専用ページにてダウンロード購入いただけます。